

業務瓦版

2015年 5月23日

第 27 号

JR東海労新幹線地本
業 務 部

仕業検査3名体制案が提示される！

2015年4月20日、平成27年度要員計画についての業務委員会が開催されました。その中で、仕業検査班の要員が10名削減される案が提示されました。私たちは安全と健康を担保できない効率化には反対であることを明らかにしてきました。

安全と健康を担保できない要員削減、労働強化は反対！

今回の仕業検査の要員削減案は、平成27年度施策の一つで「車両データの活用等による検修体制の見直し」（実施概要：「車両データ分析センターの新設及び仕業検査検修体制の見直し」ということで、東京仕業検査車両所で△2（2名要員削減）の計画だということです。

内訳は、仕業検査は現行の4名体制（JR3名+SEK1名）×3班ですが、改正後は「3名体制（JR2名+SEK1名）×3班」となり△10、つまり10名の要員削減となります。そして新たに「車両データ分析センター」の新設により8名の要員が増えます。その差し引きで△2ということです。しかし、車両データ分析センターの8名のうち2名は管理者であり、一般社員は6名増でしかなく、**実際は△4**ということになります。

今回の要員削減案は働く者にしわ寄せが来ることは間違いありません。私たちは安全と健康を担保できない要員削減、労働強化には反対します。

何を根拠に仕業検査要員削減をするのか！？

組合：仕業検査の要員削減の根拠は何か。

会社：一つは、車両データ分析センターができる。二つめは屋根上点検扉の双方向扉で動線の見直し。三つめは室内検査をSEKが行なう。ということである。

組合：仕業検査の動き方のイメージはどのようなものか。

会社：屋根上検査はJRとSEKで⑩号車から行き、①号車で降りる。そして①号車運転台で加圧し、運転台の検査終了後は下回り検査をして⑩号車へ戻る。SEKは屋根から降りたら、車内を検査して戻る。B担当は下回り（中）を検査し①号車までいったら、そのまま下回り（山側か海側）を検査して戻る。その後⑩号車運転台の検査を行う。

屋根上作業は重労働！工具とスリ板は持ち歩き！？

組合：スリ板体の運搬はどうするのか。

会社：（作業用）台車は使えない。損品は①号車側におろす。損品を置く場所は新設する。

組合：工具はどうするのか。

会社：身につける。

組合：損品は持ち運びとなるのか

会社：そうである

組合：重い物を持ち歩くのか・

会社：そういうことになる。

組合：重労働になる。

車内検査はSEKが担当することに！？

組合：車内検査はSEKというが人数どうなるのか。

会社：変わらない。

組合：検査内容は。

会社：現行と同じである。

組合：時間内にできると考えているのか。

会社：可能であると考えている。SEKも現在の作業は少ない。可能である。

組合：その言い方は失礼である。見えないところで色々やっている。

屋根上点検扉の信頼性は大丈夫か！？

組合：屋根上点検扉は（誤検知が多く）信頼性がない、問題ある。

会社：エラーは認める。現在チューニング中である。

組合：第一検修庫の屋根上点検扉はいつ出来るのか。

会社：6月中には必要な箇所については完成させる。

組合：開始はいつか。

会社：定期移動日である。

組合：それは7月1日か。

会社：通常であればその辺である。

JR西日本編成のチャート確認はかわらない！？

組合：車両データ分析センターはどのようなことをするのか。

会社：ATCチャートや保守情報などの解析である。

組合：それは仕業検査では見ないということになるのか。

会社：そうであるが、対象は東海編成のみである。西の編成はデータを取り込めないの、これまで通り仕業検査で確認することになる。また、西日本エリアでは東海編成のデータは取り込めないの、解析できない。チャ

ーと紙の残量と補充は行ってもらう。

組合：三島車両所についてはどうなるのか。

会社：(検査体制の) 見直しはないが、やはり東海編成のATCチャートと保守情報については見なくても良くなる。

車両データ分析センターの管理者は8名中2人は多くないか!?

組合：分析班の人数はどのようになるのか。

会社：技術のある人、車両や機能についての知識など勘案して人選する。

組合：8名中2名は管理者か。

会社：そうである。

組合：多いと感じる。

組合：提示内容には納得していない。安全と健康を担保できない要員削減は反対である。必要により申し入れをする。

以上

*私たち新幹線地本は職場の組合員・社員の声をもとに、安全で働きやすい労働条件及び職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。問題点や要望事項等があれば JR 東海労新幹線地本までお知らせ下さい。

ホームページアドレス
メールアドレス

<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>
jrcushinkansen@yahoo.co.jp

お気軽にアクセスしてください